

DISTRICT 2650

Rotary
Club of Nara-West



Rotary Club Of

NARA-WEST

WEEKLY BULLETIN

No. 2560

2025. 10. 24

創立 1969年(昭和44年)12月13日

例会日 毎週木曜日18:00より

事務所 〒630-8001 奈良市法華寺町254番地

例会場 奈良ロイヤルホテル内

TEL 0742-34-1131 FAX 0742-30-2000

2025～2026年度
国際ロータリー会長メッセージ

よいことの
ために
手を取りあおう

国際ロータリー会長
フランチェスコ・アレツツォ

2025～2026年度
地区基本方針

「未来へつなぐ」

RI第2650地区ガバナー
小崎 学

かがやく形
ポルトーロ大理石



作: 杉村 仁 会長

会 長	杉村 仁	副 会 長	佃 尚彦	副 会 長	安井 清悟	会長エレクト	井上 直治	直前会長	佐川 寛一
幹 事	加藤 又弘	会 計	木村 和弘	会場監督	丸山 佳映	理 事	井上 直治	理 事	岡崎 義幸
理 事	東山 光秀	理 事	安井 清悟	理 事	松中 隆	会報委員長	岡崎 義幸		



2025～26年度 国際ロータリー第2650地区 小崎 学 ガバナー 公式訪問特集号



■合同公式訪問プログラム

15:30～ 16:30 平城京RC会長・幹事・役員懇談会
16:40～ 17:40 奈良西RC会長・幹事・役員懇談会
18:00～ 19:00 例会(ガバナーアドレス 18:30～)

■同行者 ガバナー補佐 大方 豊様
■随行者 幹事長 小滝 寛様

第13回(2560回)例会プログラム令和7年10月24日(金)

「ガバナー訪問お疲れ様会」

オートムブツフェ

奈良ロイヤルホテル扇滝にて

第12回(2559回)例会報告 2025. 10. 9

ソング

「君が代」「奉仕の理想」

来訪者紹介

小崎 学 様 国際ロータリー第2650地区ガバナー
大方 豊 様 国際ロータリー第2650地区ガバナー補佐
小滝 寛 様 国際ロータリー第2650地区幹事長

出席報告

	会員数	出席計算 免除会員数	出席会員数	欠席者数	出席率
通 算 2559 回	20	1/1	13/19	6	70.0%
通算2557回修正	20	1/1	13/19	6	70.0%

会長の時間(平城京RC 奥西会長)

皆様、こんばんは。

本日は奈良西ロータリークラブ、平城京ロータリークラブ合同のガバナー公式訪問です。

小崎学ガバナー様、大方豊ガバナー補佐様、小滝寛地区幹事長様、本日はよろしく申し上げます。両クラブ会員一同心より歓迎申し上げます。

又、大方豊ガバナー補佐様には、両クラブのガバナー公式訪問事前協議会でのご意見、ご指導ありがとうございました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

先程、小崎学ガバナー様とクラブ会長幹事理事役員の懇談会でのご意見ご指導ありがとうございました。後ほどガバナー様にはアドレスを頂戴いたします。

よろしく願いいたします。

両クラブを代表して歓迎のご挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。



ニコニコ報告

小崎学ガバナー

小崎 学ガバナーよりお祝い頂戴いたしました。

杉村仁会長

小崎ガバナー、小滝幹事長、大方ガバナー補佐、ようこそ合同例会へ。ご指導ありがとうございます。

安井清悟P会長、松中隆会員

小崎ガバナー御一行様、公式訪問に来ていただきありがとうございます。植野P会長、ご友人の北川先生、ノーベル賞おめでとうございます。卓話に来てもらいたいです。

佐川寛一P会長

ガバナー訪問、会員の皆様、お疲れさまでした。今年も残り3か月です。ロータリー活動頑張ってください。

植野洋志P会長

昨日、大学の同期生がノーベル化学賞もらうことになりました。おめでたいです。ニコニコ

東山光秀会員、小松玲子会員、加藤又拡会員、岡崎義幸会員、丸山佳映会員、川上顕慶会員

小崎ガバナー様、大方補佐様、小滝幹事長様、ガバナー訪問ありがとうございます。

ガバナー公式訪問



ガバナー公式訪問(続き)



ガバナーアドレス

「ガバナーアドレス」

国際ロータリー第2650地区 小崎 学 ガバナー

今日は、2025-26年度 国際ロータリー会長のメッセージを紹介しながら、私自身の想いも交えて、これからのクラブづくりについてお話しさせていただきます。

ロータリーの最大の財産は「人」

会長は次のように語っています。

「ロータリーの最大の財産は会員です。」

実績や歴史ではなく、地球上で最も有能なボランティアチームとしての私たち一人ひとりの存在にこそ価値がある。この強いメッセージを受け止めたいと思います。

そして、彼は「革新」「継続性」「パートナーシップ」を柱に、クラブ活性化と会員増強を呼びかけています。中でも、印象的な言葉があります。

「すべてを同じままに保つには、すべてを変えなければならない。」

これは、変化の中でこそクラブの本質を守れるという強い決意の表れです。

2025-26年度のRI会長テーマは「よいことのために手を取りあおう」。この言葉から、私たちは何を学び、どう行動すべきか。ここからは、私自身が考える「未来へつなぐクラブ」についてお話しします。



1.クラブの力の源は、会員一人ひとり

クラブの活力は、人と人とのつながりから生まれます。多様な価値観を尊重しながら、共通の目標に向かう。この絆こそが、ロータリーの強さだと信じています。

2.成長の鍵は「人財の育成」

ロータリアンに完成はありません。例会や奉仕活動、青少年との交流の中で、私たちは学び続けています。次の世代へ「言葉ではなく背中伝える」姿勢が、クラブの未来をつくりのではありませんでしょうか。

3.「変化」への柔軟な姿勢

社会は日々変化しています。クラブもまた、「こうあるべき」に縛られず進化していくべきです。守るためにこそ、変える勇気を持ちましょう。

4.信頼を育てる「つながり」

クラブは一人ひとりが主役です。互いを信じ、尊重し合うことで、クラブは「信頼の場」となります。第2650地区には96のクラブがあります。地域を越えたつながりも、新しい可能性を広げてくれます。

5.奉仕事業はクラブの「鏡」

奉仕活動の計画・実行には、そのクラブの姿勢が映し出されます。「誰のために」「なぜ」「何を」「いつ」「どこで」「どうやって」。この6つの問いを共有し、事業の質と信頼を高めましょう。

6.柔軟な運営と「備え」

時代に合ったクラブ運営も大切です。委員会構成の見直しや危機管理体制の整備は、メンバーの安心につながります。備えあるクラブは、強いクラブです。

7.3年間で見る「クラブの未来」

国際ロータリーでは、「3年間のローリングプラン」(3-Year Rolling Target / Plan)を推奨しています。継続性を持ち、明確な目標を掲げ、地域に根ざした行動力を養う。単年度でなく中長期的に、次期リーダーと連携しながらクラブ運営を進めましょう。

8.会員増強は「全員のテーマ」

仲間を増やすことも、離脱を防ぐことも、一部の委員会だけで担うものではありません。全員で出合いを育て、信頼を築き、共に歩むことが大切です。

9.財団・補助金の活用 米山奨学会

奉仕の幅を広げるために、ロータリー財団の活用は欠かせません。

- ・年次基金:1人180ドル以上
- ・ポリオプラス:1人30ドル以上
- ・米山奨学会:24,000円
- ・希望の風奨学金:5,000円

特に、世界ポリオデー(10月24日)には、クラブ独自の活動を展開し、広く意識を高めていきましょう。

結びに

変化を恐れず、仲間を信じ、学び合い、支え合う。

そうした歩みの中に、未来につながるクラブの姿があると信じています。

クラブの未来は、私たち一人ひとりの行動にかかっています。

ともに学び、ともに奉仕し、次の世代へバトンを渡していきましょう。

ご清聴、誠にありがとうございました。

ガバナー公式訪問



会長幹事役員懇談会



京都RC創立100周年記念例会



10月8日、「京都ロータリークラブ創立100周年記念式典・祝宴」がホテルオークラにて行われ、杉村会長、加藤幹事が出席致しました。

Rotary
Club of Nara-West



第14回（通算2561回）例会予告
例会日 令和7年10月30日（木）

「家族親睦移動例会」

信楽方面（魚松名物あばれ喰い）